

図 解 交通年鑑

(令和4年版)



TOTTORI POLICE



はとろ-くん

鳥 取 県 警 察 本 部



はとこちゃん

用語の意味

- 1 「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）並びに物損事故をいう。
※ 本資料に計上された数のうち、物損事故として表記のないものは、全て人身事故として計上されたものである。
- 2 「死亡」（「死者」）とは、交通事故によって、発生から24時間以内に亡くなった場合（人）をいう。
- 3 「負傷」（「負傷者」）とは、交通事故によって負傷し、治療を要する場合（人）をいう。
なお、負傷の程度の判断は医師の診断に基づく。
- 4 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等（列車を含む。）の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。
- 5 「高齢者」とは65歳以上の者、「子ども」とは中学生以下の者をいう。
- 6 「事故類型」とは、事故をまず当事者の種類（人又は車両）によって分類し、次いで当事者の事故時の行動等（動き、位置、衝突物等）によって更に細かく分類したものである。
- 7 「状態」とは、当事者の事故当時の状態（自動車運転中、自動車同乗中、歩行中等）をいう。
* 構成率等は、単位未満で四捨五入しているため、合計と内計は一致しない場合がある。

目 次

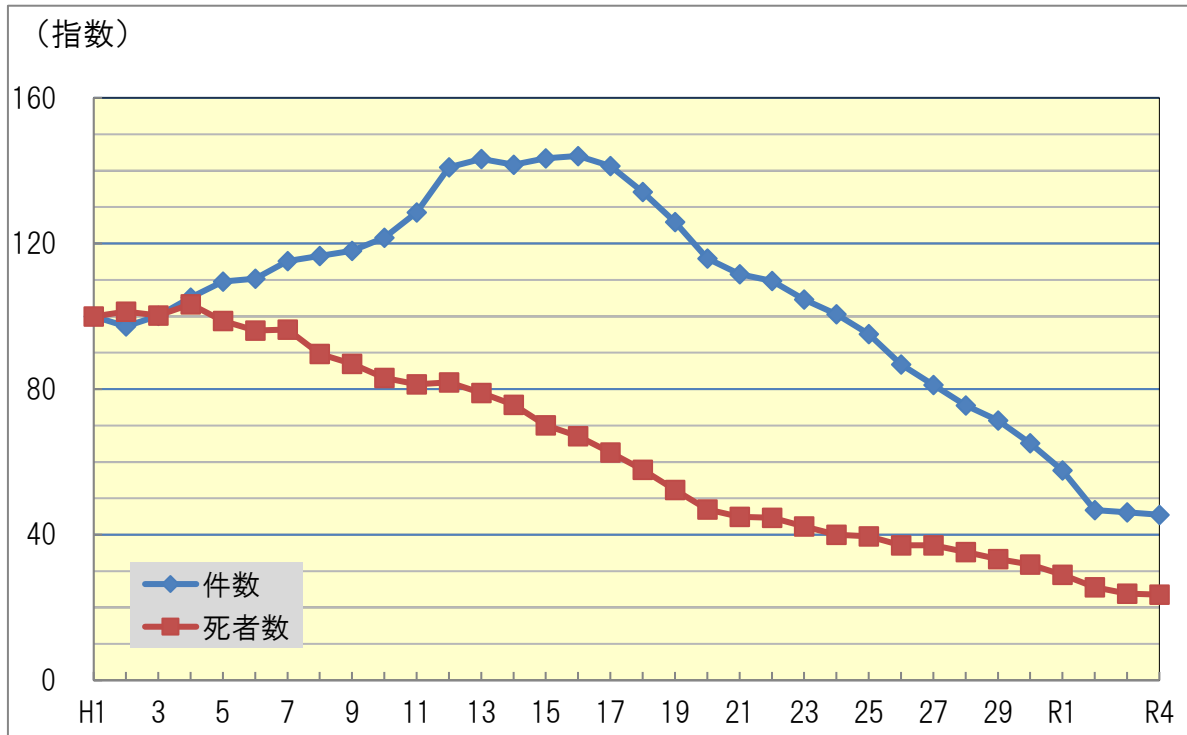
1	全国の交通事故	1
	(1) <u>全国の交通事故の推移</u>	1
	(2) <u>都道府県別交通事故死者数</u>	2
2	鳥取県の交通事故	3
	(1) <u>鳥取県の交通事故の推移</u>	3
	(2) <u>市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率</u>	4
	(3) <u>月別発生状況(発生月)</u>	5
	(4) <u>曜日別発生状況</u>	5
	(5) <u>時間別・昼夜別発生状況</u>	6
	(6) <u>道路別発生状況</u>	7
	(7) <u>事故類型別発生状況</u>	7
	(8) <u>年齢層別死傷者数</u>	8
	(9) <u>状態別死傷者数</u>	8
3	子どもの交通事故	9
	(1) <u>子どもの交通事故の推移</u>	9
	(2) <u>学齢別負傷者数</u>	9
	(3) <u>状態別負傷者数</u>	10
4	高齢者の交通事故	11
	(1) <u>高齢者の交通事故の推移</u>	11
	(2) <u>状態別死傷者数</u>	11
	(3) <u>男女別死傷者数</u>	12
	(4) <u>高齢者(第1当事者)事故件数</u>	12
5	歩行者の交通事故	13
	(1) <u>歩行者の交通事故の推移</u>	13
	(2) <u>年齢層別死傷者数</u>	13
	(3) <u>事故類型別発生件数・死傷者数</u>	14
	(4) <u>歩行者の違反別死傷者数</u>	14

6	自転車の交通事故	15
	(1) <u>自転車の交通事故の推移</u>	15
	(2) <u>年齢層別負傷者数</u>	15
	(3) <u>事故類型別発生件数・負傷者数</u>	16
	(4) <u>自転車の違反別負傷者数</u>	16
7	二輪車（自動二輪・原付）の交通事故	17
	(1) <u>二輪車の交通事故の推移</u>	17
	(2) <u>年齢層別死傷者数（二輪車乗車中）</u>	17
	(3) <u>事故類型別発生件数・死傷者数</u>	18
	(4) <u>二輪車の違反別死傷者数</u>	18
8	交通死亡事故発生状況	18
	(1) <u>年齢層別・状態別死者数</u>	19
	(2) <u>第1当事者の年齢層別・状態別件数</u>	19
	(3) <u>第1当事者の違反別・事故類型別件数</u>	20
	(4) <u>路線別・道路形状別件数</u>	20
9	飲酒交通事故、飲酒運転取締り状況	21
	(1) <u>飲酒交通事故発生状況</u>	21
	(2) <u>飲酒運転取締り状況</u>	21

1 全国の交通事故

(1) 全国の交通事故の推移

全国の死者数は2,610人で、前年比26人、1.0%減少し、警察庁が保有する昭和23年からの統計で、6年連続で最少を更新しました。



(注) 指数は、平成1年を100とする。

年別	区分	件数	死者数	負傷者数
昭和23年		21,341	3,848	17,609
24		25,113	3,790	20,242
25		33,212	4,202	25,450
26		41,423	4,429	31,274
27		58,487	4,696	43,321
28		80,019	5,544	59,280
29		93,869	6,374	72,390
30		93,981	6,379	76,501
31		122,691	6,751	102,072
32		146,833	7,575	124,530
33		168,799	8,248	145,432
34		201,292	10,079	175,951
35		449,917	12,055	289,156
36		493,693	12,865	308,697
37		479,825	11,445	313,813
38		531,966	12,301	359,089
39		557,183	13,318	401,117
40		567,286	12,484	425,666
41		425,944	13,904	517,775
42		521,481	13,618	655,377
43		635,056	14,256	828,071
44		720,880	16,257	967,000
45		718,080	16,765	981,096
46		700,290	16,278	949,689
47		659,283	15,918	889,198
48		586,713	14,574	789,948
49		490,452	11,432	651,420
50		472,938	10,792	622,467
51		471,041	9,734	613,957
52		460,649	8,945	593,211
53		464,037	8,783	594,116
54		471,573	8,466	596,282
55		476,677	8,760	598,719
56		485,578	8,719	607,346
57		502,261	9,073	626,192
58		526,362	9,520	654,822
59		518,642	9,262	644,321
60		552,788	9,261	681,346
昭和61年		579,190	9,317	712,330
62		590,723	9,347	722,179
63		614,481	10,344	752,845
平成1年		661,363	11,086	814,832
2		643,097	11,227	790,295
3		662,392	11,109	810,245
4		695,346	11,452	844,003
5		724,678	10,945	878,633
6		729,461	10,653	881,723
7		761,794	10,684	922,677
8		771,085	9,943	942,204
9		780,401	9,642	958,925
10		803,882	9,214	990,676
11		850,371	9,012	1,050,399
12		931,950	9,073	1,155,707
13		947,253	8,757	1,181,039
14		936,950	8,396	1,168,029
15		948,281	7,768	1,181,681
16		952,720	7,436	1,183,617
17		934,346	6,937	1,157,113
18		887,267	6,415	1,098,564
19		832,704	5,796	1,034,652
20		766,394	5,209	945,703
21		737,637	4,979	911,215
22		725,924	4,948	896,297
23		692,084	4,691	854,613
24		665,157	4,438	825,392
25		629,033	4,388	781,492
26		573,842	4,113	711,374
27		536,899	4,117	666,023
28		499,201	3,904	618,853
29		472,165	3,694	580,850
30		430,601	3,532	525,846
令和1年		381,237	3,215	461,775
2		309,178	2,839	369,476
3		305,196	2,636	362,131
4		300,839	2,610	356,601

(2) 都道府県別交通事故死者数

都道府県		死者数			人口10万人当たり死者数		
		令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)
北海道		144	120	115	2.74	2.30	2.22
東	青森	28	29	31	2.25	2.34	2.54
	岩手	46	35	37	3.75	2.89	3.09
	宮城	44	42	37	1.91	1.82	1.62
北	秋田	37	28	33	3.83	2.92	3.49
	山形	30	24	26	2.78	2.25	2.46
	福島	57	49	47	3.09	2.67	2.59
東京		155	133	132	1.11	0.95	0.94
関	茨城	84	80	91	2.94	2.79	3.19
	栃木	60	56	50	3.10	2.90	2.60
	群馬	45	50	47	2.32	2.58	2.44
	埼玉	121	118	104	1.65	1.61	1.42
	千葉	128	121	124	2.05	1.93	1.98
	神奈川	140	142	113	1.52	1.54	1.22
	新潟	64	47	61	2.88	2.14	2.80
東	山梨	21	32	25	2.59	3.95	3.11
	長野	46	45	46	2.24	2.20	2.26
	静岡	108	89	83	2.96	2.45	2.30
中	富山	26	29	34	2.49	2.80	3.32
	石川	40	26	22	3.51	2.30	1.96
	福井	41	26	27	5.34	3.39	3.55
	岐阜	43	61	75	2.16	3.08	3.82
	愛知	154	117	137	2.04	1.55	1.82
部	三重	73	62	60	4.10	3.50	3.42
	滋賀	49	37	38	3.47	2.62	2.69
	京都	49	51	45	1.90	1.98	1.76
畿	大阪	124	140	141	1.41	1.58	1.60
	兵庫	110	114	120	2.01	2.09	2.21
	奈良	25	39	29	1.88	2.94	2.21
	和歌山	18	31	24	1.95	3.36	2.63
中	鳥取	17	19	14	3.06	3.43	2.55
	島根	18	10	16	2.67	1.49	2.41
	岡山	62	57	74	3.28	3.02	3.94
	広島	71	70	74	2.53	2.50	2.66
	山口	42	34	31	3.09	2.53	2.33
四	徳島	20	32	23	2.75	4.45	3.23
	香川	59	37	35	6.17	3.89	3.72
	愛媛	48	50	44	3.58	3.75	3.33
	高知	34	25	26	4.87	3.62	3.80
九	福岡	91	101	75	1.78	1.97	1.46
	佐賀	33	23	23	4.05	2.83	2.85
	長崎	34	27	28	2.56	2.06	2.16
	熊本	46	39	53	2.63	2.24	3.07
	大分	43	36	32	3.79	3.20	2.87
	宮崎	36	30	32	3.36	2.80	3.02
	鹿児島	53	47	42	3.31	2.96	2.66
沖縄	22	26	34	1.51	1.77	2.32	
全 国		2,839	2,636	2,610	2.25	2.09	2.08

注 算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料

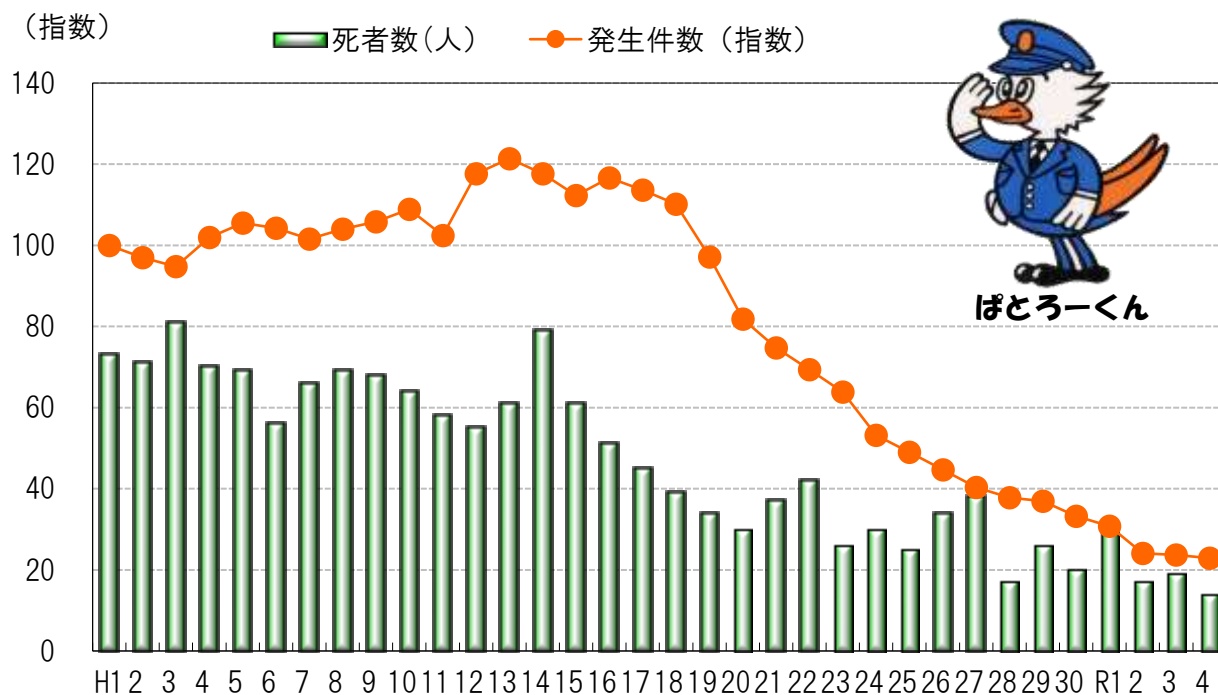
「人口推計」（各年10月1日現在人口（補正を行っていないもの）。

国勢調査実施年は国勢調査人口による。

2 鳥取県の交通事故

(1) 鳥取県の交通事故の推移

令和4年の死者数14人は、死者数が最少となった昭和24年の9人に次いで少ない。
 発生件数及び負傷者数は、平成17年から18年連続で減少した。



(注) 指数は、平成元年(1年)を100とする。

区分 年別	死者数	区分 年別	死者数	区分 年別	件数	死者数	負傷者数
昭和23年	27	48	109	10	2,846	64	3,217
24	9	49	72	11	2,677	58	3,413
25	18	50	89	12	3,074	55	3,943
26	24	51	90	13	3,172	61	4,152
27	31	52	61	14	3,075	79	4,051
28	21	53	54	15	2,934	61	3,772
29	32	54	52	16	3,048	51	3,992
30	38	55	61	17	2,970	45	3,905
31	42	56	57	18	2,878	39	3,698
32	34	57	71	19	2,539	34	3,236
33	45	58	69	20	2,138	30	2,733
34	60	59	61	21	1,952	37	2,439
35	38	60	60	22	1,812	42	2,273
36	63	61	58	23	1,668	26	2,076
37	49	62	53	24	1,389	30	1,658
38	55	63	50	25	1,280	25	1,619
39	50	平成元年	73	26	1,168	34	1,396
40	85	2	71	27	1,053	38	1,250
41	87	3	81	28	987	17	1,243
42	104	4	70	29	965	26	1,162
43	106	5	69	30	869	20	1,029
44	112	6	56	令和元年	805	31	957
45	117	7	66	2	628	17	749
46	134	8	69	3	618	19	694
47	120	9	68	4	598	14	691

(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率

	発生件数		死者数		負傷者数		人口*	第1当事者居住地別	
		1万人当り		1万人当り		1万人当り		発生件数	1万人当り
岩美町	6	5.7	1	0.9	12	11.4	10,531	11	10.4
鳥取市	187	10.1	4	0.2	218	11.7	186,045	161	8.7
八頭町	8	5.2		0.0	10	6.5	15,356	13	8.5
若桜町	1	3.8		0.0	1	3.8	2,661	1	3.8
智頭町	2	3.3		0.0	2	3.3	6,116	1	1.6
湯梨浜町	24	15.1	1	0.6	30	18.9	15,880	25	15.7
三朝町	3	5.2		0.0	3	5.2	5,777	6	10.4
倉吉市	71	15.7		0.0	77	17.0	45,227	52	11.5
北栄町	28	20.0	1	0.7	36	25.7	13,984	23	16.4
琴浦町	4	2.5	1	0.6	4	2.5	15,763	14	8.9
大山町	14	9.5		0.0	17	11.5	14,774	16	10.8
日吉津村	9	25.4		0.0	10	28.2	3,543	2	5.6
米子市	186	12.7	1	0.1	216	14.8	146,148	143	9.8
南部町	5	5.0	1	1.0	4	4.0	10,066	10	9.9
境港市	36	11.2	3	0.9	37	11.5	32,119	36	11.2
伯耆町	11	10.6		0.0	12	11.6	10,354	7	6.8
江府町	2	8.0		0.0	2	8.0	2,507	5	19.9
日野町		0.0		0.0		0.0	2,790	3	10.8
日南町	1	2.5	1	2.5		0.0	3,974	1	2.5
合計	598	11.0	14	0.3	691	12.7	543,615	530	9.7

* 人口は、鳥取県 令和新时代創造本部 統計課資料
「鳥取県の推計人口（令和3年10月～令和4年9月）」による。

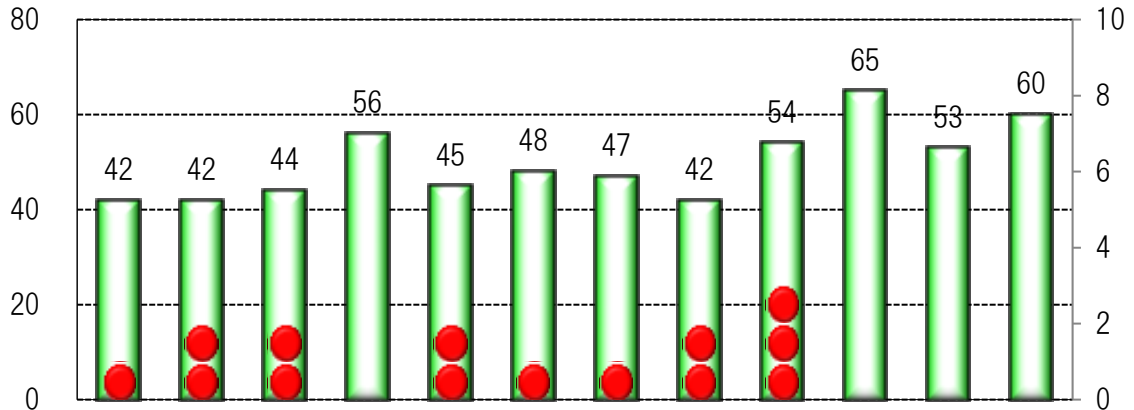
県外者	65
不明	3
総計	598

(3) 月別発生状況（発生月）

発生件数は10月が65件と最も多く、次いで12月に60件発生

死者数は9月が3人と最も多く、4月、10月から12月中の死者はなかった。

発生件数（件） ■発生件数 ●死者数 死者数（人）



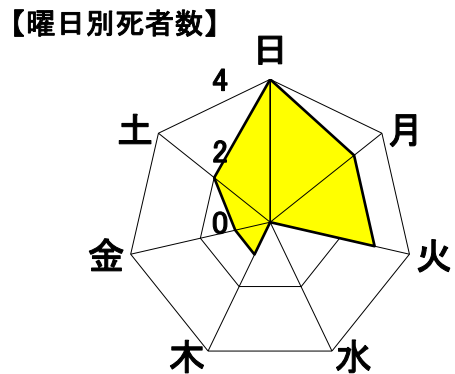
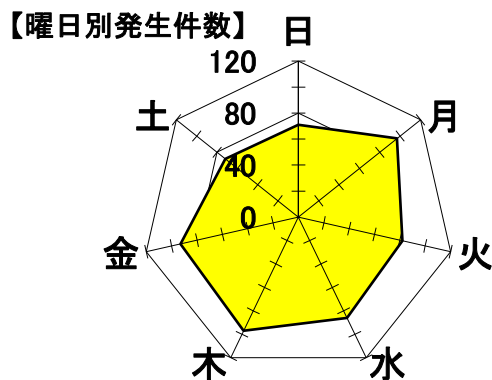
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	42	42	44	56	45	48	47	42	54	65	53	60	598
死者数	1	2	2		2	1	1	2	3				14
負傷者数	48	44	49	65	57	52	56	54	59	75	57	75	691

(4) 曜日別発生状況

発生件数は月曜日と木曜日が97件と最も多く、日曜日が71件と最も少ない。

死者数は日曜日が4人と最も多く、水曜日の死者はなかった。

負傷者数は木曜日が111人と最も多く、火曜日が86人と最も少ない。

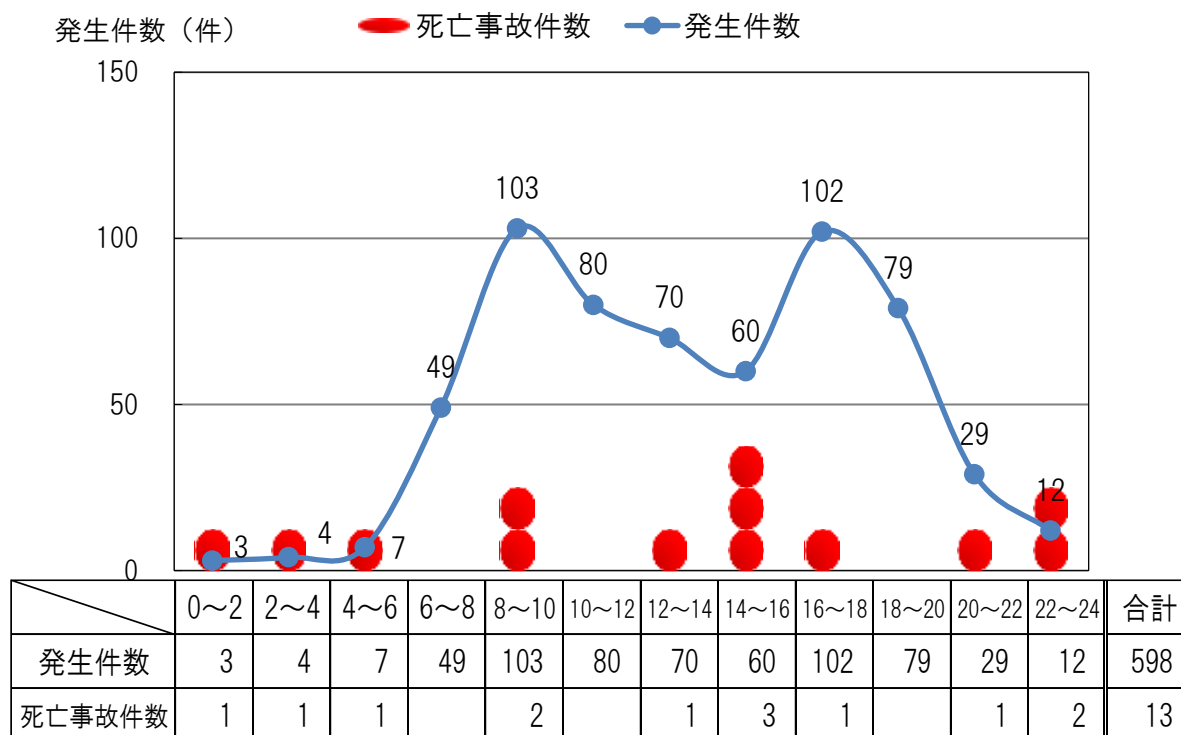


	日	月	火	水	木	金	土	合計
発生件数	71	97	82	86	97	93	72	598
死者数	4	3	3		1	1	2	14
負傷者数	89	105	86	108	111	104	88	691

(5) 時間別・昼夜別発生状況

ア 時間別

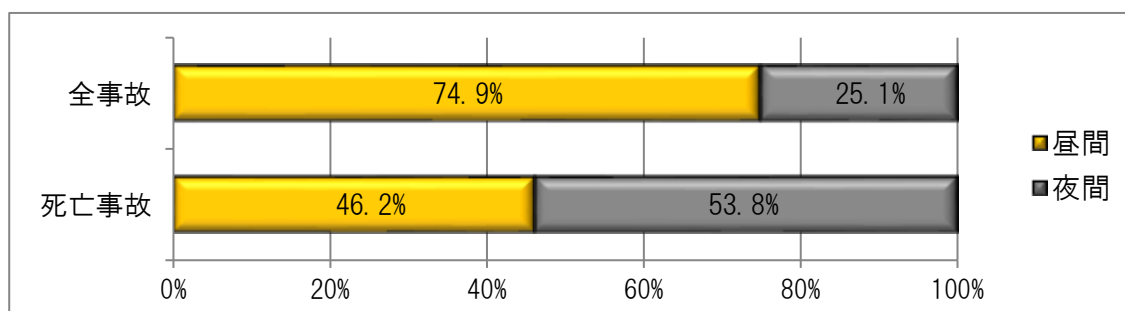
8時から10時の発生が最も多く、死亡事故は14時から16時の発生が多い



イ 昼夜別

全事故の74.9%が昼間に発生

死亡事故は、夜間に7件（53.8%）と、全事故の夜間（25.1%）の約2.1倍

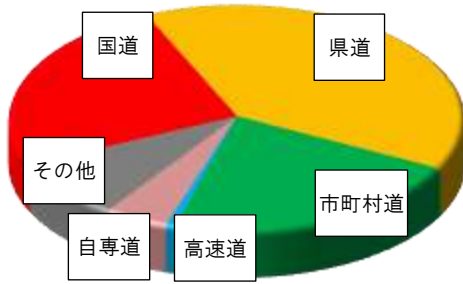


	昼間	夜間	合計
全事故件数	448	150	598
死亡事故件数	6	7	13

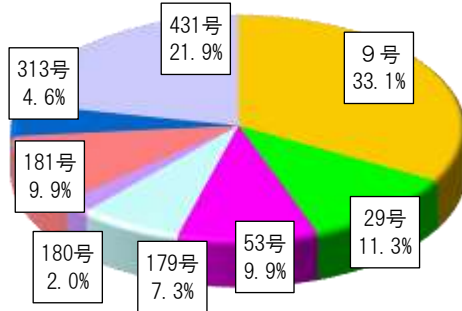
(6) 道路別発生状況

県道での発生が最も多く、国道では、国道9号での発生が多い。

【道路別発生割合】



【国道路線別発生割合】



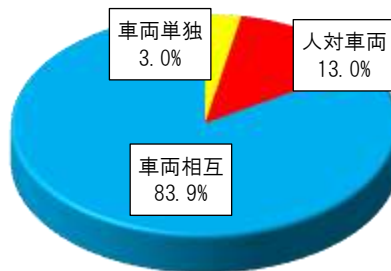
	国								道	計
	9号	29号	53号	179号	180号	181号	313号	431号		
発生件数	50	17	15	11	3	15	7	33		151

	高速道	自専道	県道			市町村道	その他	合計
			主要	一般	計			
発生件数	4	27	94	141	235	130	51	598

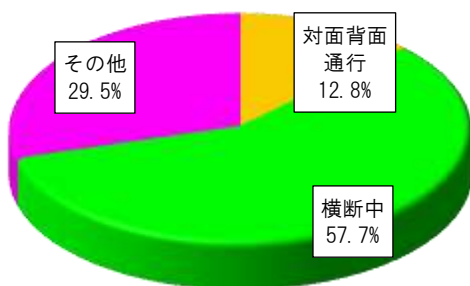
(7) 事故類型別発生状況

人対車両では横断中が多く、車両相互では追突が多い。

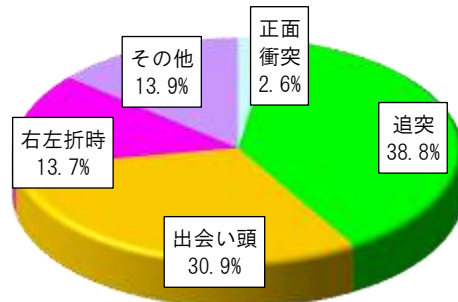
【類型別発生割合】



【人対車両の事故】



【車両相互の事故】



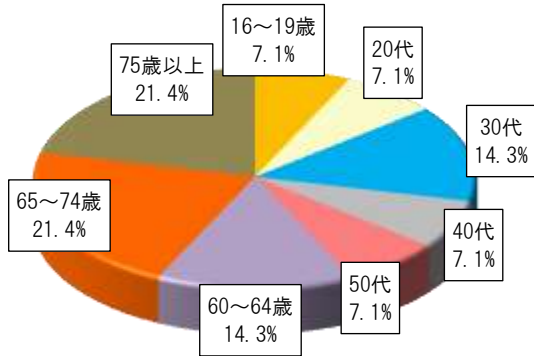
	人 対 車 両			車 両 相 互					車 両 単 独		列 車	合 計
	対面背面通行	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他	工作物衝突	その他		
発生件数	10	45	23	13	195	155	69	70	15	3		598
合計	78			502					18			598

(8) 年齢層別死傷者数

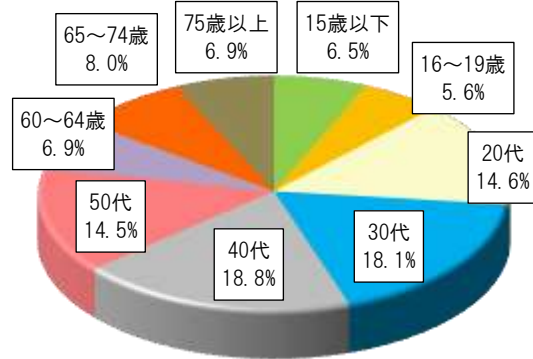
死者数は、65歳以上の高齢者が6人と全体の42.9%を占める。

負傷者数は、20代から50代が全体の66.0%を占め、65歳以上の高齢者は全体の14.9%

【年齢層別死者の割合】



【年齢層別負傷者の割合】



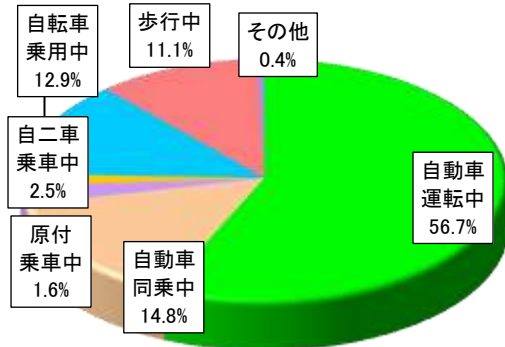
	15歳以下	16~19歳	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65~74歳	75歳以上	合計
死者数		1	1	2	1	1	2	3	3	14
負傷者数	45	39	101	125	130	100	48	55	48	691

(9) 状態別死傷者数

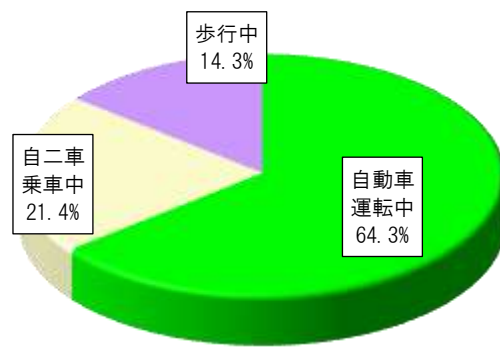
死者は、歩行中が2人（14.3%）と、前年（9人・47.4%）から大幅に減少した。

負傷者は、自動車運転中の割合が高い。

【状態別死者の割合】



【状態別負傷者の割合】

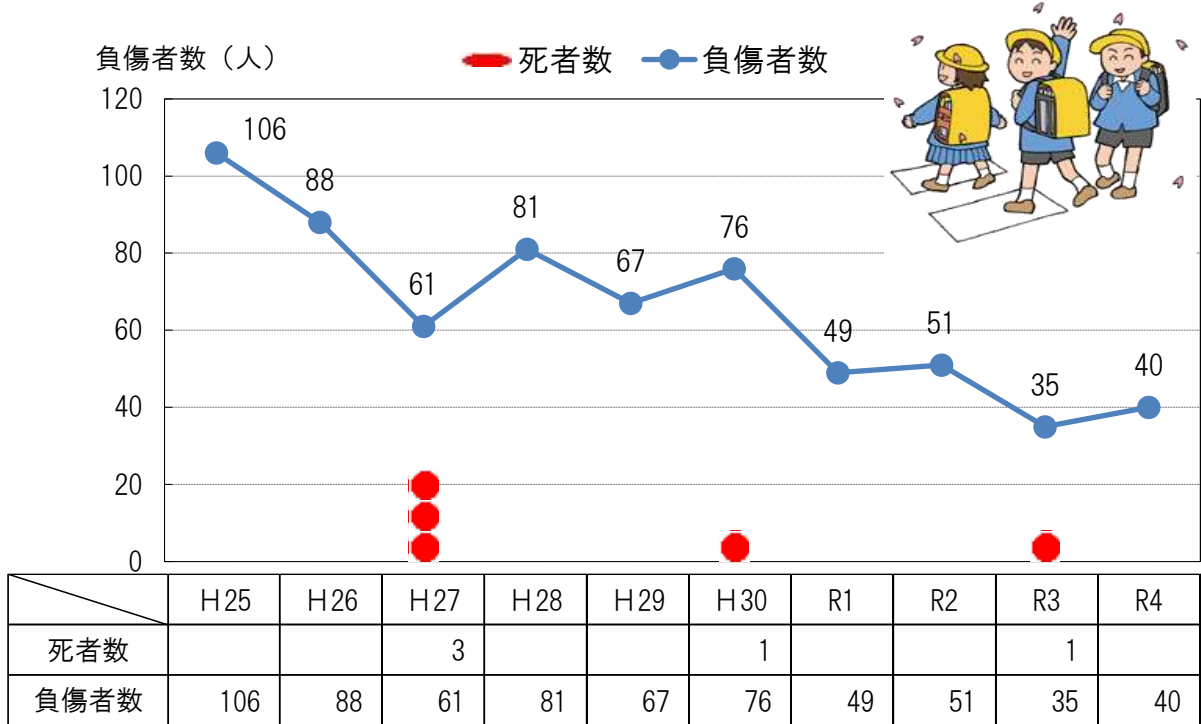


	自動車		自二車		原付車		自転車		歩行者	その他	合計
	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗			
死者数	9		3						2		14
負傷者数	392	102	17		11		88	1	77	3	691

3 子どもの交通事故

(1) 子どもの交通事故の推移

負傷者数は40人と前年から5人増加したが、死亡事故の発生はなかった。



※ 子どもは、中学生以下

(2) 学齢別負傷者数

幼児の負傷者が10人と最も多い。



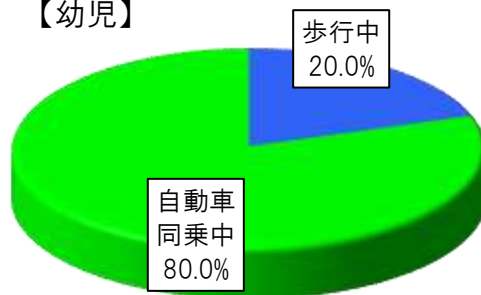
(3) 状態別負傷者数

自動車同乗中の被害が全体の50.0%を占める。

【状態別負傷者の割合】

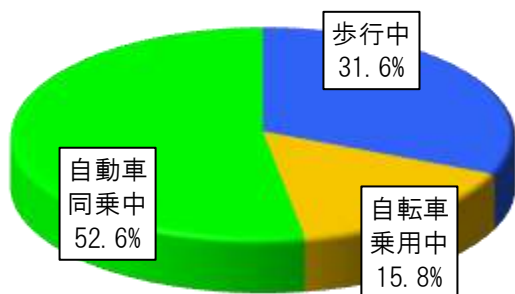


【幼児】



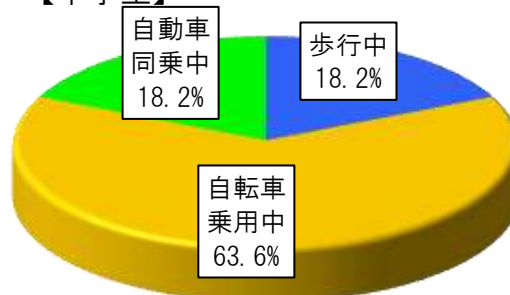
幼児の80.0%が自動車同乗中

【小学生】



小学生の47.4%が歩行中及び自転車乗用中

【中学生】



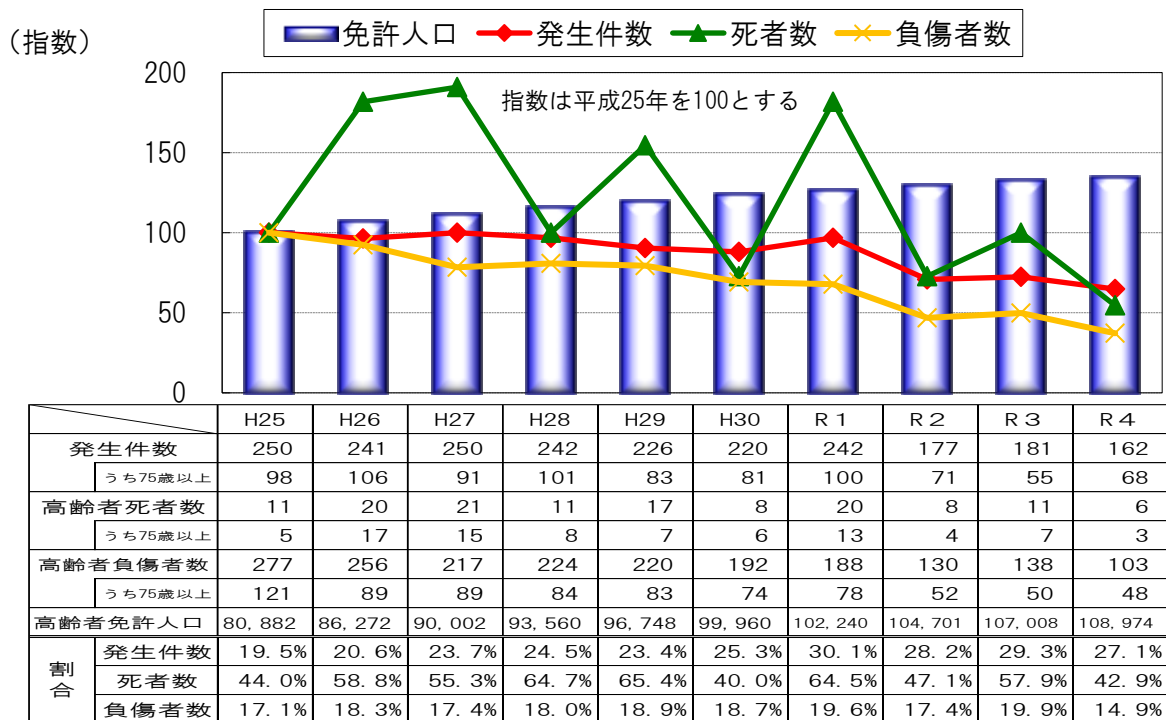
中学生の63.6%が自転車乗用中

		自転車		自動車		二輪車		その他	合計
		運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中		
死者数	幼児								
	小学1～3年								
	小学4～6年								
	中学生								
	計								
負傷者数	幼児	2			8				10
	小学1～3年	4	1		5				10
	小学4～6年	2	2		5				9
	中学生	2	7		2				11
	計	10	9	1	20				40

4 高齢者の交通事故

(1) 高齢者の交通事故の推移

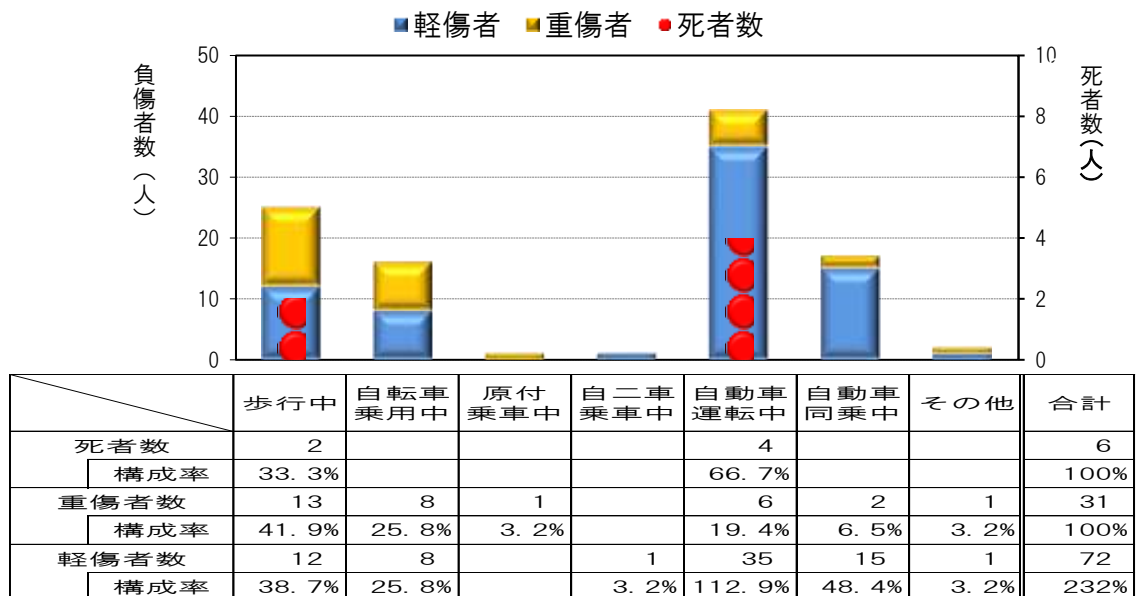
全年齢に占める高齢者の割合は42.9%で、死者数は6人と前年から5人減少した。
 高齢者が第1当事者となった事故割合は27.1%と前年から2.2ポイント減少した。
 高齢者の免許人口は年々増加し、平成25年の約1.3倍となった。



(2) 状態別死傷者数

歩行中が2人と前年の8人から6人減少

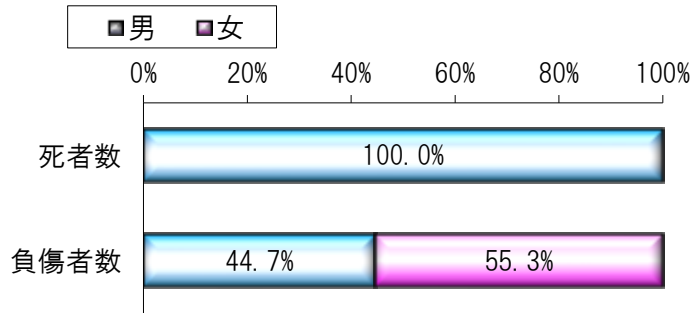
負傷者数は、自動車運転中が41人で最も多く、次いで歩行中の25人



(3) 男女別死傷者数

死者は全て男性で、負傷者は女性の割合が高い。

	死者数	負傷者数
男	6	46
構成率	100.0%	44.7%
女		57
構成率		55.3%
合計	6	103

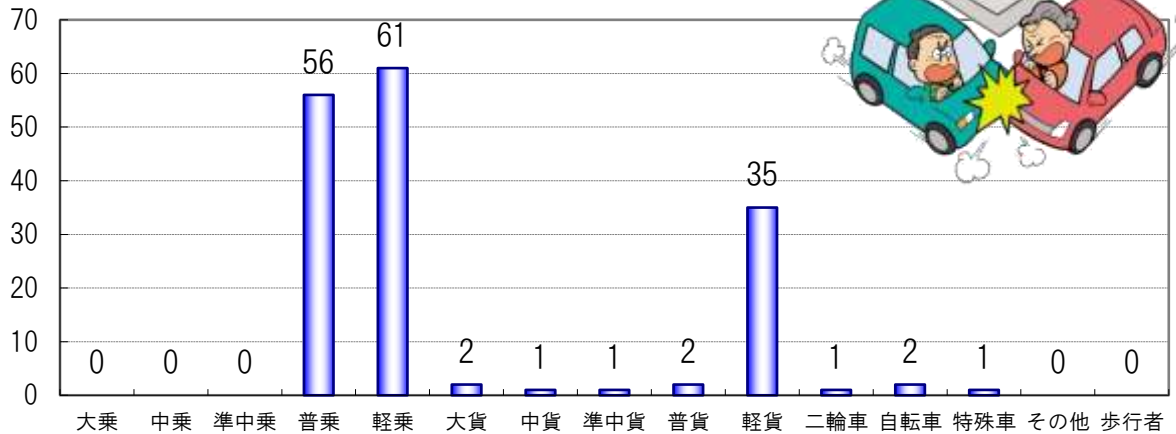


(4) 高齢者（第1当事者）事故件数

事故の車種別では、軽乗用自動車が多い。

事故類型別では、車両相互事故の割合が高く、うち出会い頭事故が50件と最も多い。

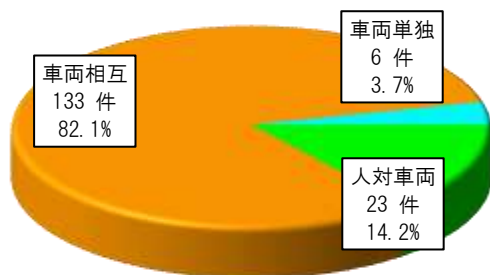
発生件数（件）



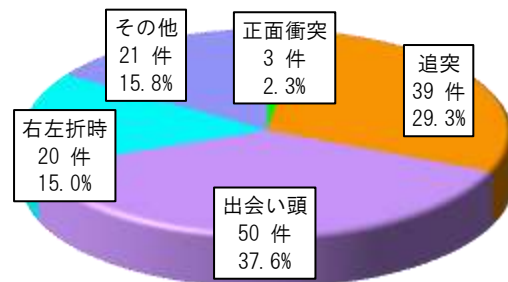
ア 第1当事者車種別・男女別

	大型乗用	中型乗用	準中型乗用	普通乗用	軽乗用	大型貨物	中型貨物	準中型貨物	普通貨物	軽貨物	二輪車 (含原付)	自転車	特殊車	その他	歩行者	合計
発生件数				56	61	2	1	1	2	35	1	2	1			162
男				33	31	2	1	1	2	29		1	1			101
女				23	30					6	1	1				61

イ 事故類型別



ウ 車両相互の類型



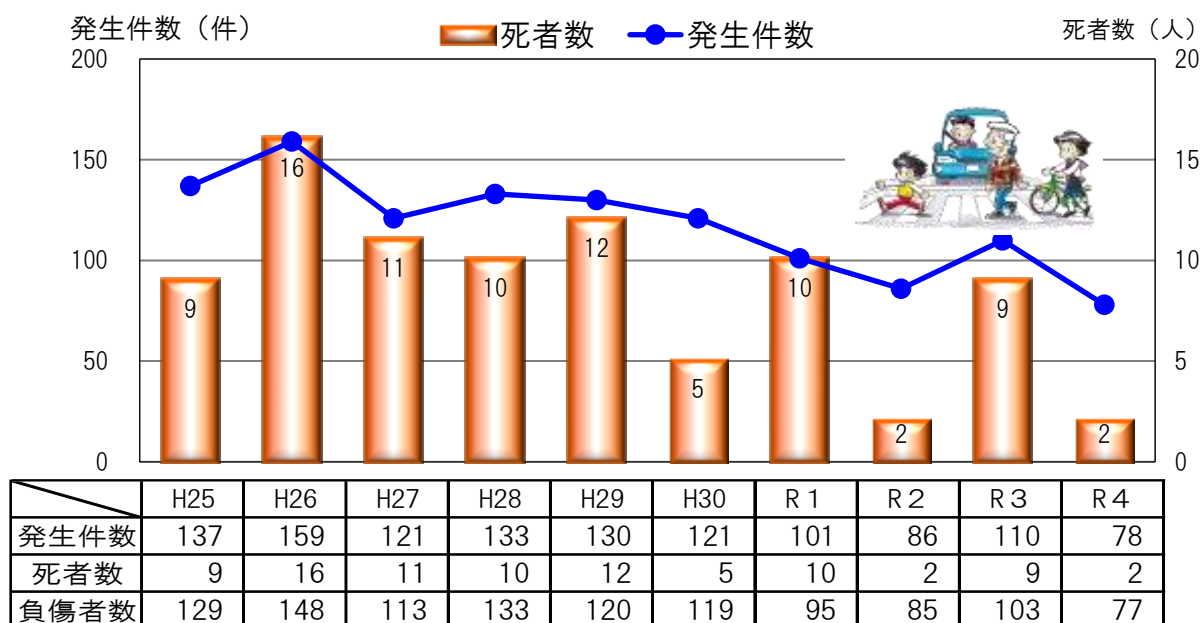
	人対車両		車両相互					車両単独	列車	合計
	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他			
発生件数	13	10	3	39	50	20	21	6		162

5 歩行者の交通事故

(1) 歩行者の交通事故の推移

発生件数は78件と前年から32件減少

死者数は2人と前年から7人減少、負傷者数は、77人と前年から26人減少

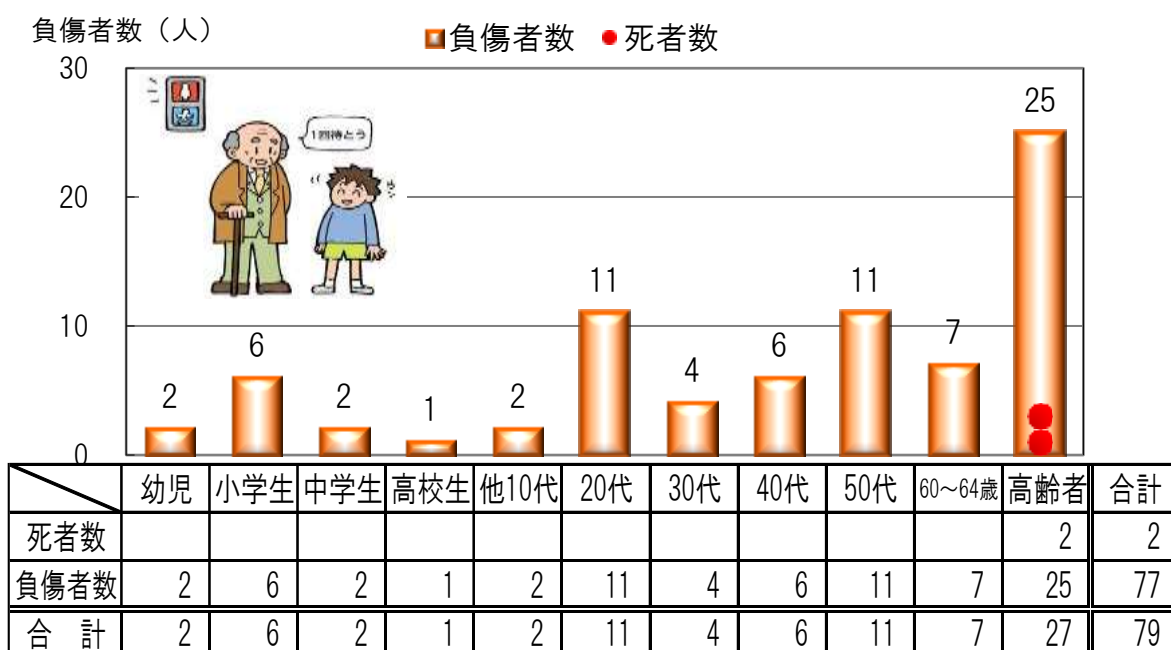


※ 発生件数は、歩行者が当事者となった交通事故の件数
 ※ 死者数、負傷者数は歩行者の人数

(2) 年齢層別死傷者数

65歳以上の高齢者の死傷者数が多い。

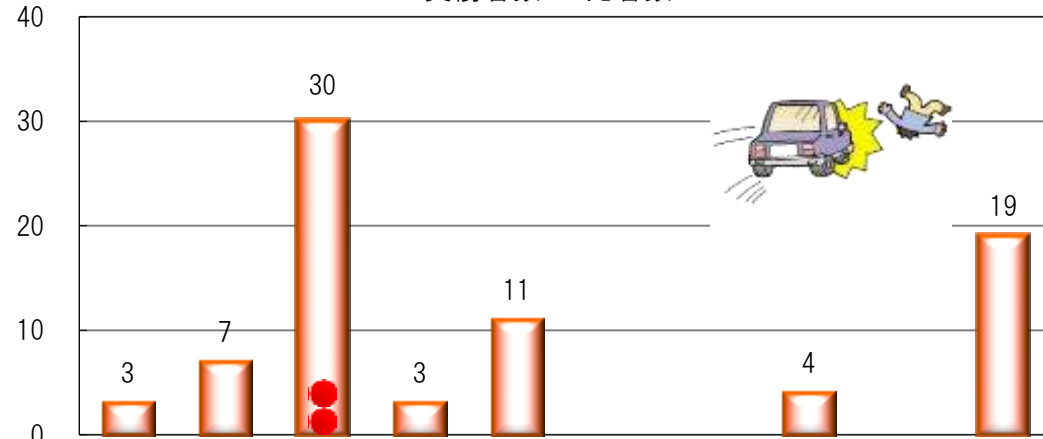
子ども（幼児から中学生）の負傷者10人中、小学生が6人（60.0%）と高率



(3) 事故類型別発生件数・死傷者数

横断中の事故が45件と最も多く、うち横断歩道横断中が32件（横断中の71.1%）
歩行中死者全てが横断歩道横断中

負傷者数(人)

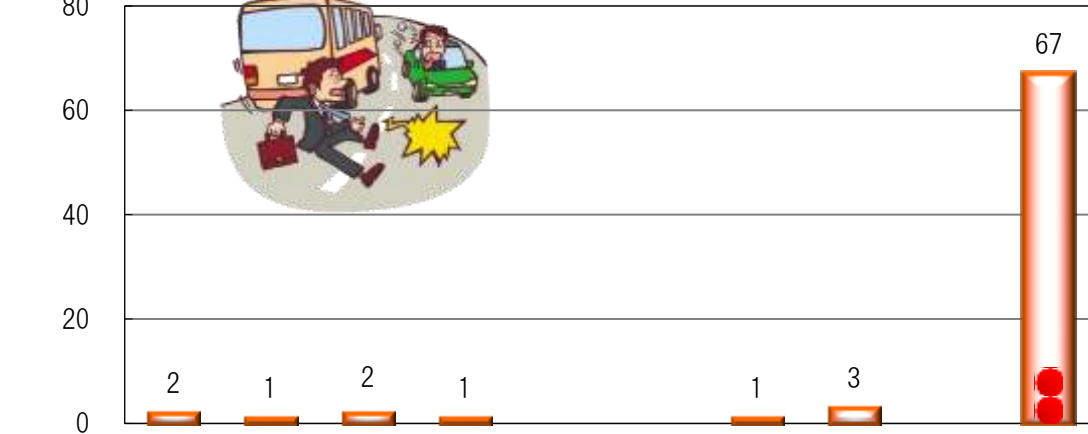


	対面通行中	背面通行中	横断歩道横断中	横断歩道付近横断	その他の横断	路上遊戯	路上作業	路上停止	路上横臥	その他	合計
発生件数	3	7	32	3	10			4		19	78
死者数			2								2
負傷者数	3	7	30	3	11			4		19	77

(4) 歩行者の違反別死傷者数

死傷者数79人中、10人（12.7%）に何らかの交通違反があった。
違反別では、飛び出し違反が3人と最も多い。

負傷者数(人)

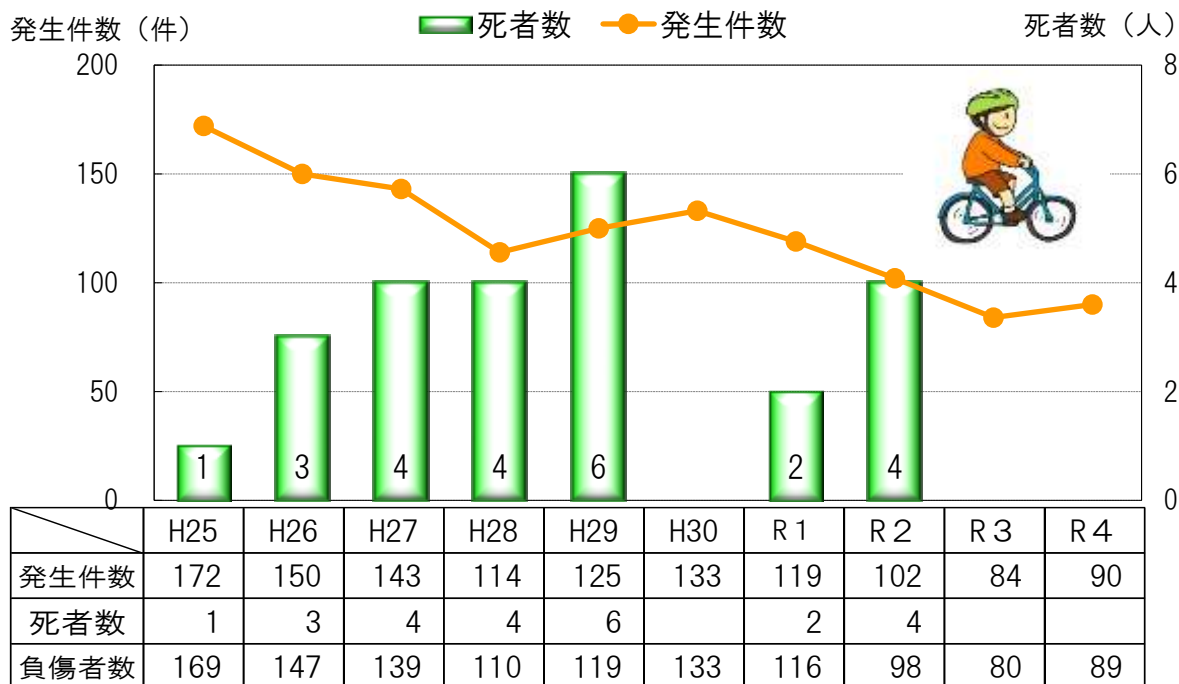


	信号無視	通行区分違反	横断歩道外横断	斜め横断	車の直前直後横断	横断禁止場所横断	路上作業	飛び出し	その他の違反	違反なし等	合計
死者数										2	2
負傷者数	2	1	2	1			1	3		67	77

6 自転車の交通事故

(1) 自転車の交通事故の推移

発生件数は前年から増加したが、自転車が関係する死亡事故の発生はなかった。

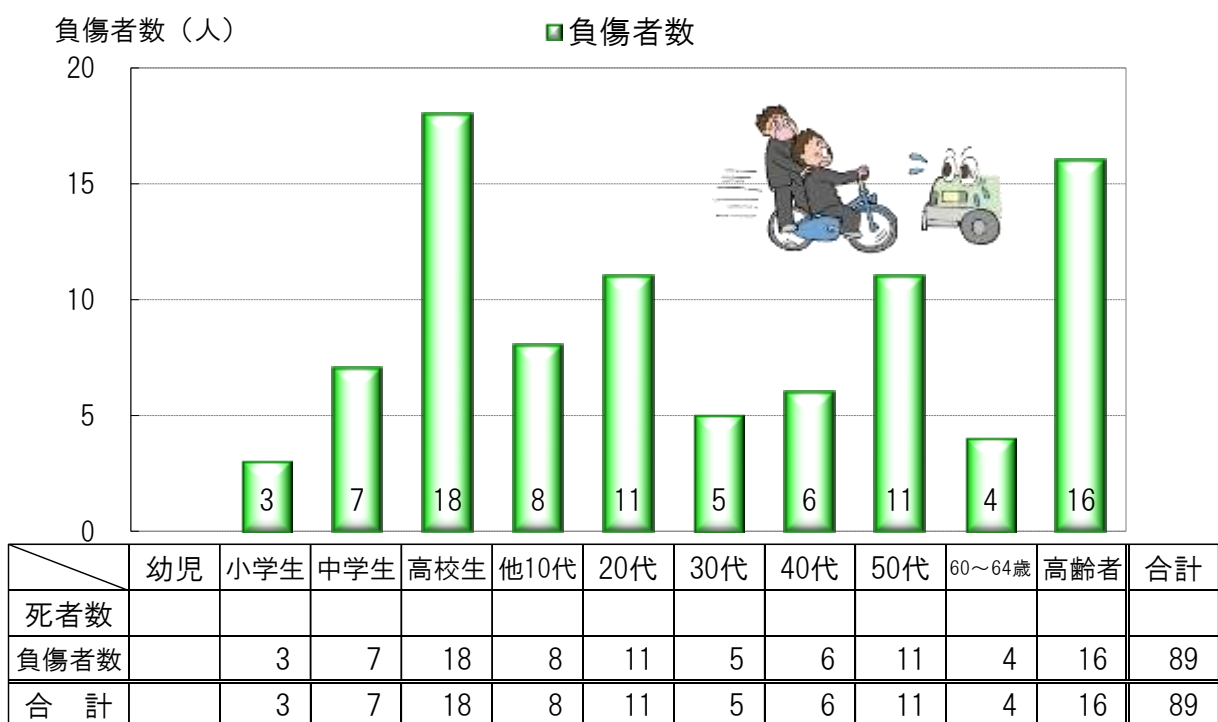


※ 発生件数は自転車が当事者となった交通事故の件数

※ 死者数、負傷者数は自転車乗用中の人数

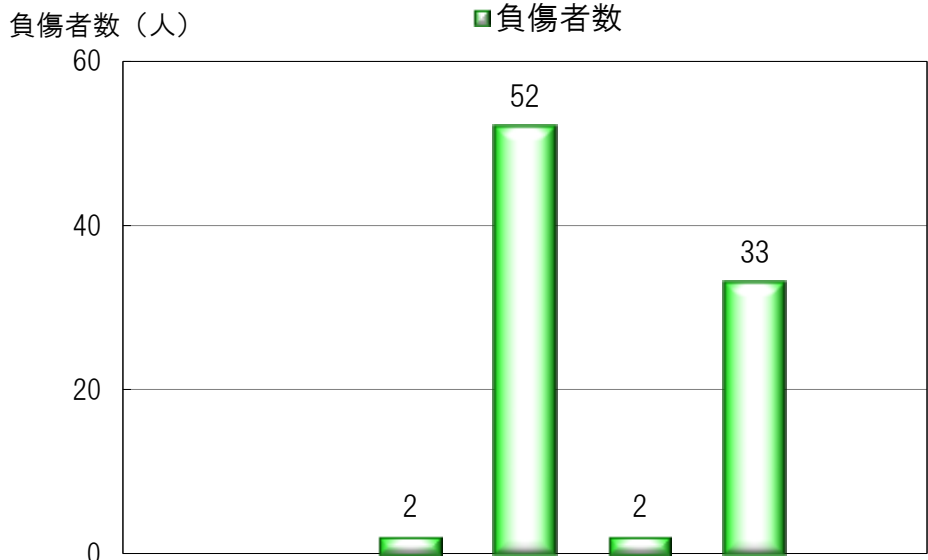
(2) 年齢層別負傷者数

負傷者は、高校生が18人と最も多く、次いで65歳以上の高齢者が16人



(3) 事故類型別発生件数・負傷者数

出会い頭事故が51件と最も多く、自転車事故の56.7%を占める

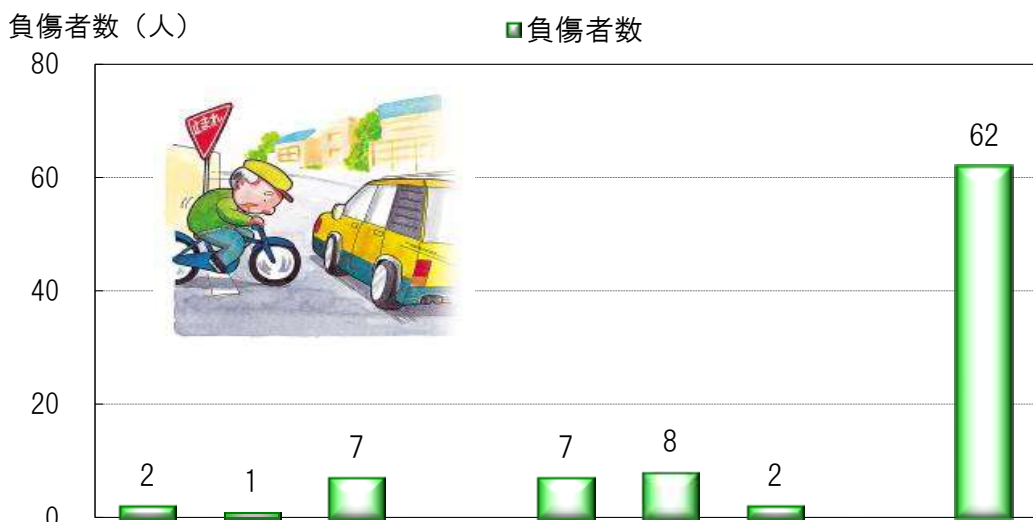


	対歩行者	対車両事故					単独	合計	うち 同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	対自転車	その他			
発生件数	2		2	51	2	33	90	1	
死者数									
負傷者数			2	52	2	33	89	1	

(4) 自転車の違反別負傷者数

負傷者89人中、約3割に当たる27人に何らかの交通違反があった。

違反別では、安全不確認が8人と最も多い。

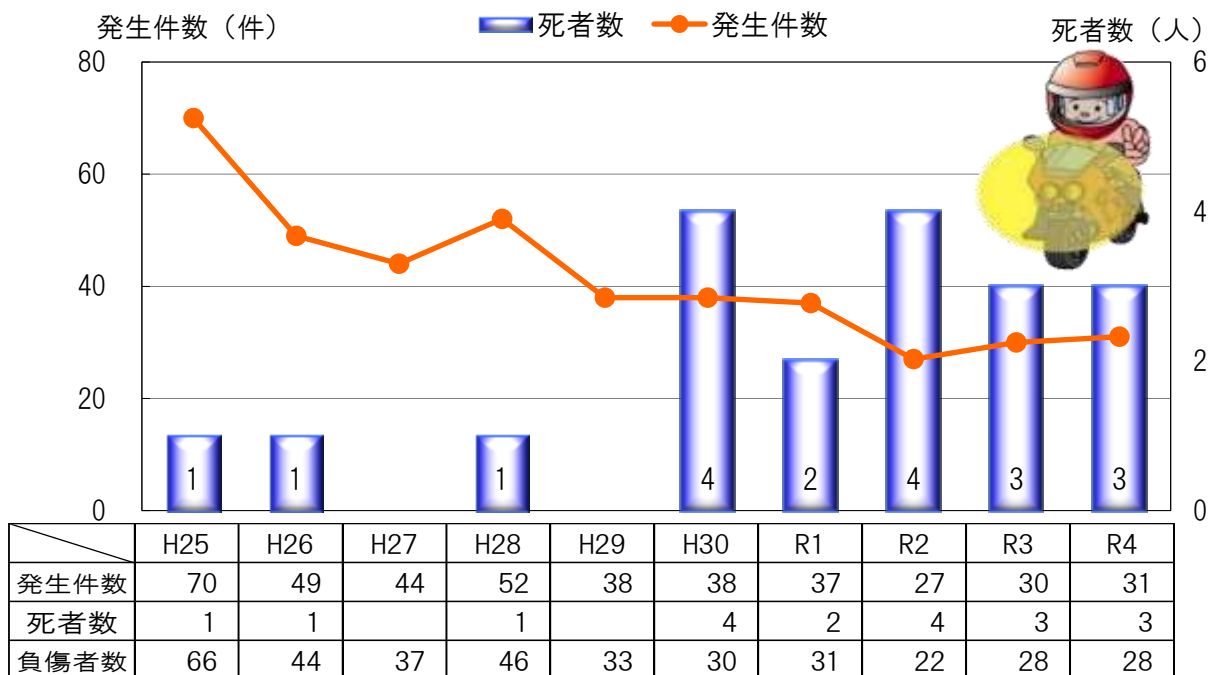


	信号無視	通行区分 違反	交差点安全 進行義務	徐行場所 違反	一時 不停止	安全運転義務違反		その他 の違反	違反 なし	合計
						安全不確認	その他			
死者数										
負傷者数	2	1	7		7	8	2		62	89

7 二輪車（自動二輪・原付）の交通事故

(1) 二輪車の交通事故の推移

発生件数は、前年から1件増加したが、死傷者数は前年と同数となった。



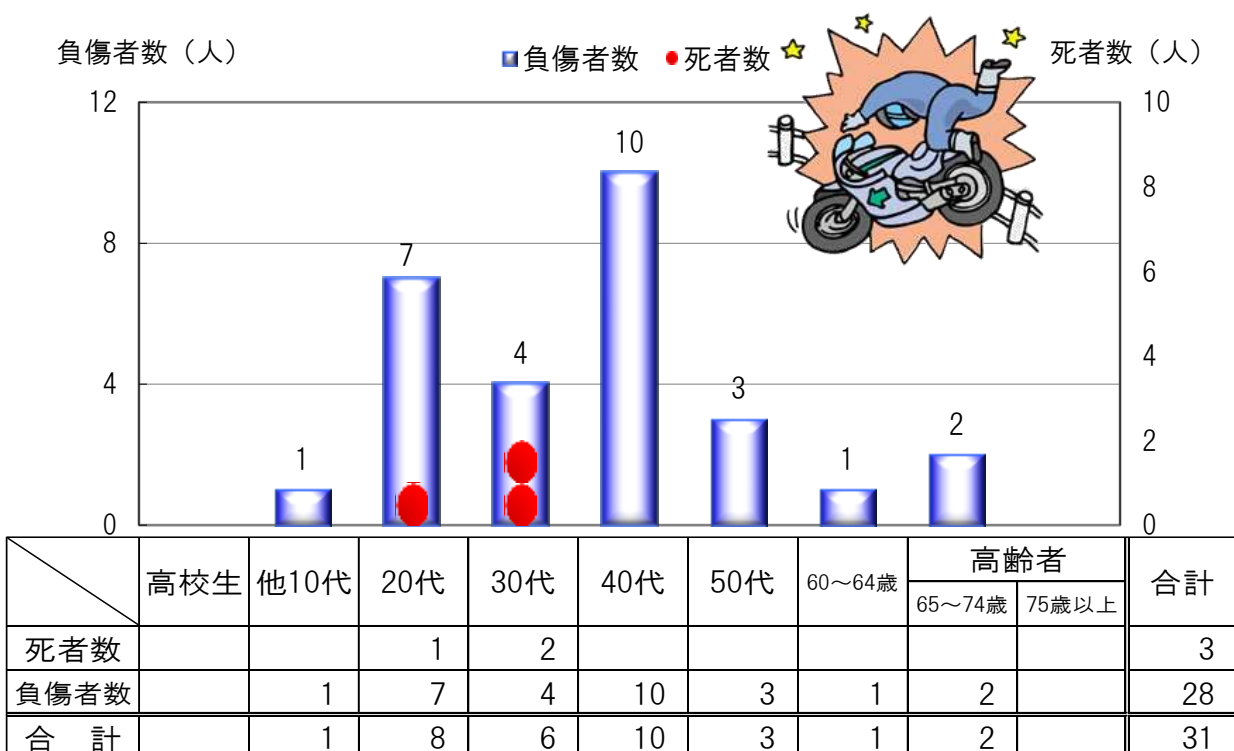
※ 発生件数は二輪車が当事者となった交通事故の件数

※ 死者数、負傷者数は二輪車乗車中の人数

(2) 年齢層別死傷者数（二輪車乗車中）

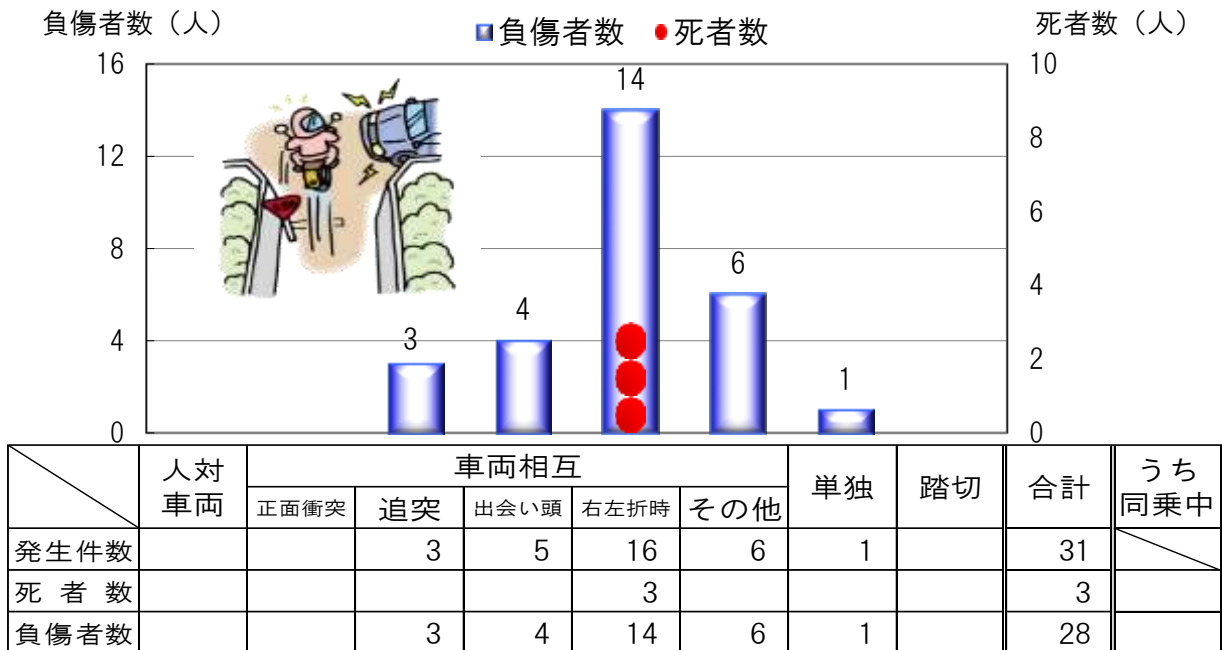
死者3人全てが、20代から30代

死傷者数は、40代以下の年代が25人と全死傷者数の80.6%を占める。



(3) 事故類型別発生件数・死傷者数

右左折時の事故が16件（死者数3人、負傷者数14人）と最多



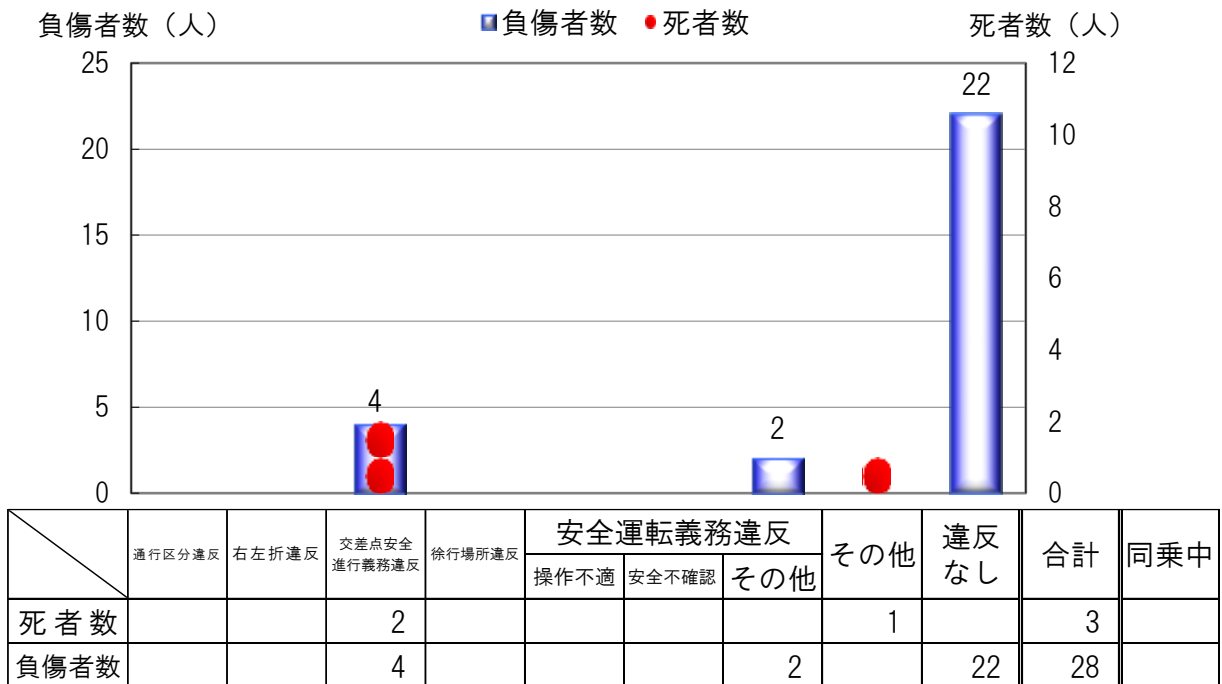
※ 発生件数は二輪車が当事者となった事故の件数

※ 死者数、負傷者数は二輪車乗用中の人数

(4) 二輪車の違反別死傷者数

死傷者の約3割に何らかの交通違反があった。

違反別では交差点安全進行義務違反が最も多い。



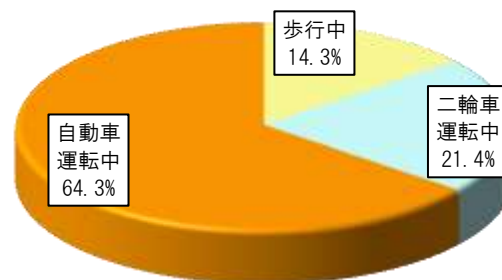
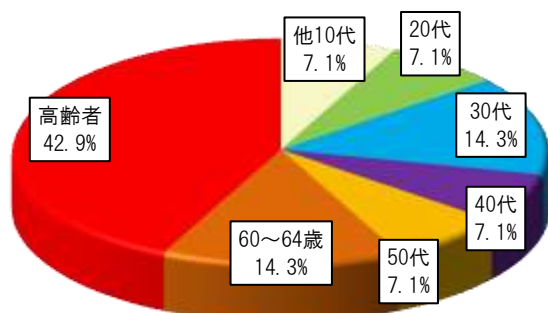
8 交通死亡事故発生状況

(1) 年齢層別・状態別死者数

年齢層別では、65歳以上の高齢者が6人（57.9%）と最多
 状態別では、自動車運転中が9人（64.3%）と最多

【年齢層別死者】

【状態別死者】

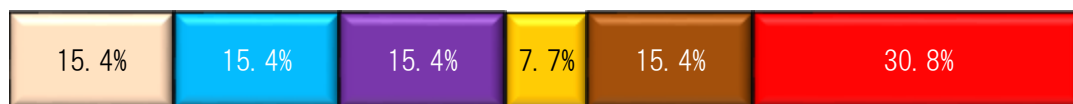


	子ども	高校生	他10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者	合計
歩行中									2	2
自転車乗用中										
二輪車運転中				1	2					3
自動車運転中			1			1	1	2	4	9
自動車同乗中										
その他										
合計			1	1	2	1	1	2	6	14

(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数

年齢層別では、65歳以上の高齢者が4件（30.8%）と最も多い。
 当事者種別では、自動車運転中が12件で全死亡事故の92.3%を占める。

■他10代 □20代 ■30代 ■40代 ■50代 ■60~64歳 ■高齢者



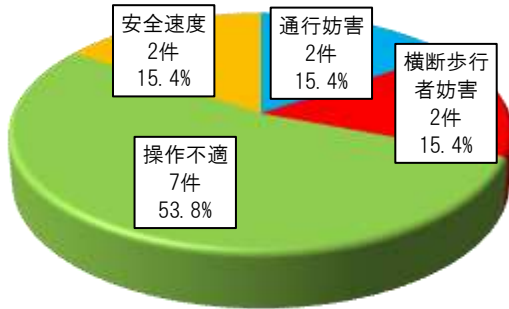
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

	子ども	高校生	他10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者	合計
自動車			2		1	2	1	2	4	12
二輪車					1					1
自転車										
歩行者										
その他										
合計			2		2	2	1	2	4	13

(3) 第1当事者の違反別・事故類型別件数

ア 違反別件数

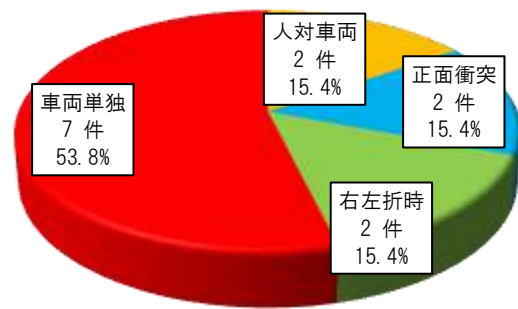
操作不適が7件と最多



	通行妨害	横断歩行者妨害	安全運転義務違反		合計
			操作不適	安全速度	
件数	2	2	7	2	13

イ 事故類型別件数

車両単独が7件と最多



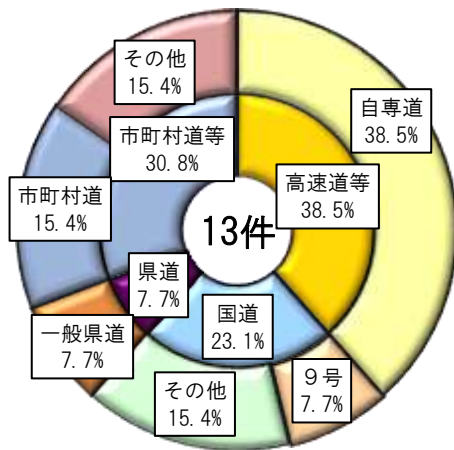
	人対車両	車両相互		車両単独	合計
		正面衝突	右左折時		
件数	2	2	2	7	13

(4) 路線別・道路形状別件数

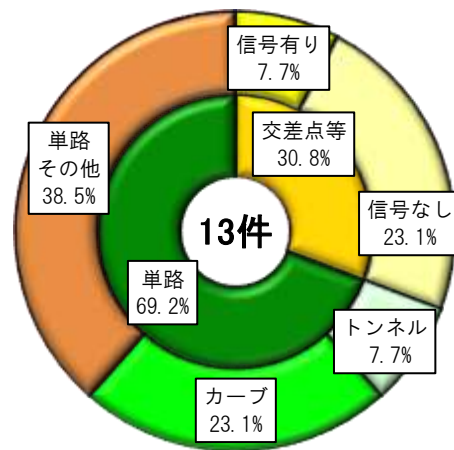
路線別では、自専道での発生が5件（38.5%）と多発

道路形状別では、単路での事故が9件（69.2%）と多発

【路線別死亡事故】



【道路形状別死亡事故】



	高速道等		国道				県道		市町村道等		合計
	高速道	自専道	9号	29号	431号	その他	主要	一般	市町村道	その他	
件数		5	1	1	1			1	2	2	13

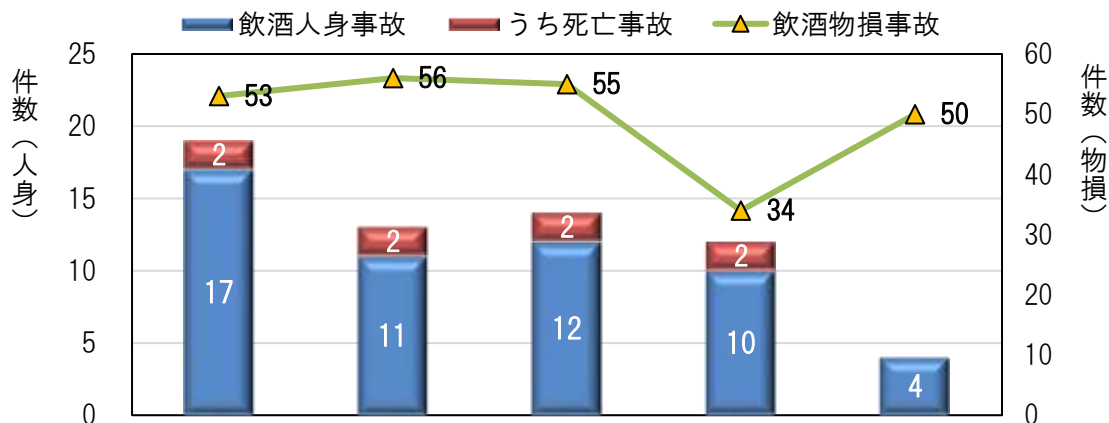
	交差点等				単路				踏切	その他	合計
	信号有り	信号なし	交差点付近	計	トンネル	カーブ	その他	計			
件数	1	3		4	1	3	5	9			13

9 飲酒交通事故、飲酒運転取締り状況

(1) 飲酒交通事故発生状況

飲酒を伴う交通事故総数は前年から10件増加（増加率22.7%）

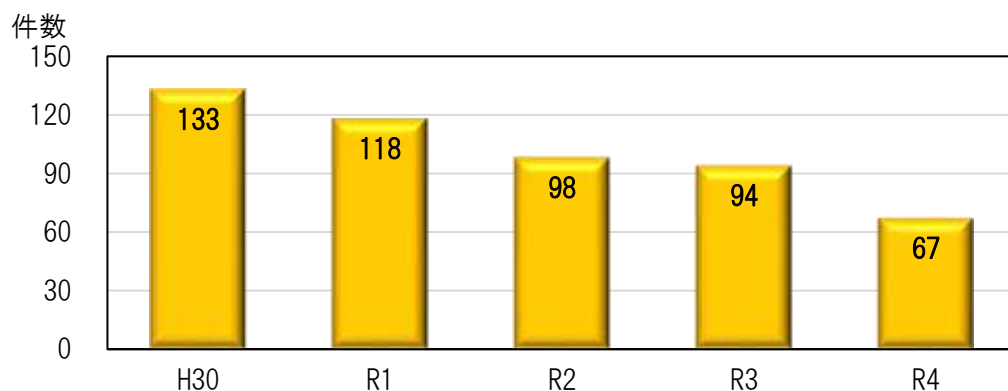
人身交通事故は前年から6件減少、死亡事故の発生はなかった。



	H30	R1	R2	R3	R4
飲酒人身事故	17	11	12	10	4
うち死亡事故	2	2	2	2	
飲酒物損事故	53	56	55	34	50
合計	70	67	67	44	54

(2) 飲酒運転取締り状況

飲酒運転の検挙は67件と前年から27件減少



【MEMO】

令和4年版
図解交通年鑑

鳥取県警察本部交通部交通企画課

鳥取市東町1丁目271 TEL 0857-23-0110
